

2025年2月27日

株式会社マルハニチロ物流

川崎第一物流センター増設棟が完成、3月1日より稼働開始

マルハニチロ株式会社（本社所在地：東京都江東区、代表取締役社長：池見 賢）の連結子会社で物流事業を行う株式会社マルハニチロ物流（本社所在地：東京都中央区、代表取締役社長：小門 賢一）が、建設を進めておりました「川崎第一物流センター」の増設棟である「南棟」が完成し、2025年3月1日（土）より稼働を開始します。竣工式は同年2月26日（水）に執り行いました。

川崎第一物流センターは冷凍食品などの高回転貨物に対応する、マルハニチロ物流として最大の保管能力を有する拠点のひとつであり、マルハニチログループにおける物流事業の関東・首都圏地区での輸配送および保管拠点として重要な役割を担っています。

本センターの増設により、マルハニチログループの成長戦略であるバリューチェーン強化に貢献する物流拠点の整備の一環として、関東・首都圏地区の製品配送のさらなる効率化が見込まれます。



▲「川崎第一物流センター 南棟」外観



▲最新の全自動倉庫



▲竣工式の様子（マルハニチロ物流 代表取締役社長 小門賢一）

【特長】

- ・ 本センターは、首都高速湾岸線や東京湾横断道路を利用した集配アクセスに便利な、国内最大規模の冷蔵倉庫集積地である、東扇島物流基地内に位置しています。
- ・ 全自動倉庫の導入により、入出庫自動化と省人化を実現、フォークリフト作業や手荷役の減少により貨物破損を削減し、より高品質な物流サービスの提供が可能となります。
- ・ 全自動倉庫は約14,000枚のパレットを収納でき、最大1時間約120パレットの入出庫が可能となります。
- ・ 冷却設備に自然冷媒（アンモニア、CO₂）を採用、全館LED照明を設置し環境負荷の軽減を図ります。
- ・ 大規模地震の発生に備え、プレキャスト・プレストレスト・コンクリート（PCaPC）免震構造を採用し、高い安全性を確保した設計です。
- ・ 既存棟の「北棟」と同様に、トラック予約システムの運用により待機時間の削減を図ります。

【概要】

- ・ 事業所名：株式会社マルハニチロ物流 川崎第一物流センター 南棟
- ・ 所在地：神奈川県川崎市川崎区東扇島25-1
- ・ 敷地面積：約4,950㎡
- ・ 建築面積：3,969.81㎡
- ・ 設備能力：31,603トン
- ・ 着工：2022年10月
- ・ 稼働開始：2025年3月1日
- ・ 従業員数：約50名（川崎第一物流センター合計）
- ・ 事業内容：冷凍食品を中心とした農畜産品等の保管業務、運送取り扱い事業、通関事業および流通加工事業

（ご参考）東扇島地区（神奈川県川崎市）における当社グループ物流センター建設について

1991年：川崎第一物流センター建設

1998年：川崎第二物流センター建設

2014年：川崎第三物流センター建設

以上

報道各位からのお問い合わせ先

マルハニチロ株式会社 経営企画部

ブランドコミュニケーション・広報グループ

メール koho@maruha-nichiro.co.jp
